

# 一般質問

## ズバリ、町政を問う！

## 総務部門関連質問



(南田議員)

- Q 太平洋戦争戦死者を把握しているか。
- A 町内のみの戦死者の把握は難しい。(平本町長)

A 戦没者の名簿については、陸軍は本籍地を所轄する都道府県で、海軍は厚生労働省により管理されている。しかしながら、その情報の開示については、個人情報保護の観点からは、個人情報の観点から親族に限られている。町では戦没者遺族への給付金等の事務もやっているが、町内のみの戦死者としての管理は行っていないのが現状である。

Q 今、日本の国は総理の靖国神社参拝の外交問題でギクシャクしているが、このことはさて置き、太平洋戦争での犠牲者、いわゆる戦死者の、「町内戦死者」の名簿はあるか。



(穂土議員)

- Q 筆の里工房の運営状態を問う。
- A 入館者・施設使用料共に増加傾向にあるといえる。(橋本助役)

「筆の里工房」の運営状況 (共に2月末現在の数値)

	平成16年度	平成17年度	増減率
入館者数	36,386人	42,492人	116.7%
入館料	7,459,970円	9,247,210円	123.9%
施設使用料	720,858円	773,150円	107.2%

A 前年との比較は次の表のとおり。

Q 筆の里工房の入場者数は、また入場料と施設使用料等を含む総収入額は。

(福垣内議員)

- Q 行財政の取り組み状況は。
- A 計画に沿って概ね順調に達成されている。(前土井総務部長)



A 構造改革の進展に伴い、今後も更なる歳出削減に向けた行政改革が必要である。平成22年度当初には現状から15人の減員を目指し、また平成18年度予算においては、経常経費の前年度比5%減を達成したところである。歳入においても収入対策を強化し、住民サービス等の維持向上に努めていきたい。

Q 平成19年度以後もさらなる改革が進められようとしている中で、町体制の継続には職員数の削減、給与総額の見直し、そして投資的経費、一般行政経費の抑制、さらに歳入確保として町財産の売払い、受益者負担金の適正化が考えられる。町の今後の取り組みについて問う。